

## 第82回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日 時 平成29年6月23日（金）13時00分～15時10分
- 2 場 所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇（議長）、伊藤、稲垣、岡本、佐々木、重森、細江、杉戸、江馬、福士、鈴木、横山、小倉、林、王の各委員  
オブザーバー：  
池谷教育学部長、和佐田地域科学部長、野々村工学部長、  
杉山応用生物科学部長、吉田監事、片桐監事

開会に先立ち、議長から、名簿に基づき新任委員の紹介があった。

### 4 議事要旨の確認について

第81回の経営協議会議事要旨（案）を原案どおり確認した。

### 5 審議事項

#### (1) 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

杉戸委員から、資料1に基づき、国立大学法人評価委員会に提出する「平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」について説明があり、審議の結果、了承され、6月29日（木）開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 英語能力の向上を図るために、英語で実施している授業状況を教えていただきたい。
- 学部においては、全学共通教育において、全172コマの授業のうち、3～4割は、英語による授業を開講しているほか、地域科学部の国際教養コースで一定の割合で開講している。また、大学院においては、修士課程で英語コースを設けて、外国人留学生との混在型授業を開講している。加えて、学部教育の段階から、TOEICスコアの向上を目指している。
- 情報セキュリティについて、岐阜大学の対策を教えていただきたい。
- ファイヤーウォールにより外部からの制限を設けている。また、第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価において指摘された情報漏洩の対策として、標的型メールによる訓練、個人情報保護に関する教育研修を実施し、啓発に取り組んでいる。
- 研究成果に対するアクセスや改ざん等への対策を検討していく必要があると思われる。
- 知財管理と併せて、さらに気を引き締めて取り組んでいきたい。
- 防災訓練の実施について、災害への準備や取組事項を教えていただきたい。
- 前年度は、全学及び各学部において防災訓練を実施しているほか、熊本大学から職員を招聘して講演会を開催し防災への意識を高めた。また、岐阜県と連携し、防災リーダーの養成に取り組んでいる。

- 附属病院等において、薬品棚の転倒防止や薬品の飛び出し等の対策に取り組んでいるのか。
- 附属病院では、月に一度巡視することで危機管理意識を高めており、継続して巡視に取り組むこととしている。
- COC, COCプラス事業について、学生が全国各地で活躍できるための教育内容や教育方法の工夫について教えていただきたい。
- COC, COCプラス事業の概念として、岐阜県で活躍できる学生の育成を前提としており、フィールドワークを中心に、インターンシップ等に取り組んでいる。その際に、アクティブラーニングや現地コーディネーターとの協調による教育プログラムを実施している。

(2) 平成28事業年度財務諸表(案)等について

横山委員から、資料2に基づき、文部科学省等に提出する平成28事業年度財務諸表(案)について、貸借対照表及び損益計算書の概要、決算報告書の概要の説明があり、審議の結果、了承され、6月29日(木)開催の役員会に附議することとされた。

(3) 平成30年度概算要求(案)について

横山委員から、資料3に基づき、岐阜大学の将来ビジョンや戦略を踏まえ、概算要求(案)について説明があった。次いで、施設整備費概算要求事項(案)について説明があり、審議の結果、了承され、6月29日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 「地方創生エネルギーシステム研究センター」の設置に関連した水素社会の実現に向けた産学連携の取組において、水素はバイオから作るのか。
- バイオ及び太陽光発電から作ることとしている。

## 6 報告事項

(1) 平成28年度教職大学院等認証評価結果について

杉戸委員から、資料4に基づき、岐阜大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻認証評価結果について、教員養成評価機構の教職大学院評価基準に適合していると認定された旨の報告があった。

(2) 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

杉戸委員から、資料5に基づき、本学の第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、全体評価及び項目別評価の評価結果概況及び特記すべき特色ある取組等について説明があった。次いで、国立大学法人・大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果(全体)の概要について、中期目標の達成状況(概況)の説明があった。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 今後、教職大学院と修士課程の関係をどのようにしていくのか。
- 入学定員について、現況、教職大学院課程25名、修士課程44名であるが、今後、国、学生の動向を注視しながら検討していくこととしている。
- 今後の教職大学院のあり方を検討していく上で、専門性をベースに高等教育の充実を慎重に検討する必要がある。

(3) 平成29年度岐阜大学入学者選抜結果について

江馬委員から、資料6に基づき、平成29年度岐阜大学入学者選抜結果について、学部・大学院の入学者数、出身高校等の所在地別入学状況割合等について報告があった。

(4) 平成28年度卒業・修了者の就職状況等について

江馬委員から、資料7に基づき、平成28年度卒業生及び修了者の求人・求職・就職状況として、就職率及び就職内定率の推移について報告があった。なお、留学生の就職について、国内での就職率を高めるために、日本語教育の充実や様々な就職支援に取り組むことが必要であるとの説明があった。

(5) 平成29年度科学研究費助成事業内定状況について

福士委員から、資料8に基づき、平成29年度科学研究費助成事業の内定状況について報告があった。次いで、平成28年度の新規採択及び継続分の採択件数等について、国立大学における本学の順位の報告があり、今後、若手研究者の採択数を増加させること、及び大学全体の新規採択率を全国平均に近づけることが喫緊の課題であるとの説明があった。

(6) 岐阜大学COC事業及びCOC+事業の進捗状況について

福士委員から、資料9及び当日配付資料に基づき、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が日本学術振興会の評価で最高ランクの「S」を獲得したこと、及びCOC事業並びにCOC+事業の具体的な実績や成果について報告があった。

主な意見等は次のとおり。(○：質問・意見 ●：回答)

- 外国人観光客の県内の宿泊率が低いことから、空き家利用を含めて、地域社会の問題として取り組んでほしい。
- 観光分野についても大きなテーマとして、長良川おんぱく、NPO団体及び自治体等と連携して取り組んでいる。
- 地域の国際化をテーマとして取り組むことは大切である。
- 国内への就職支援に関連して、地元企業にインターンシップとして留学生が参加することで、地域の国際化に関与している。なお、地方創生のあり方について学修した留学生が、帰国した折に、母国の地方創生に役立てていくことを国際貢献として期待している。また、岐阜観光コンベンション協会と連携協定が締結されたことから、留学生をインターンシップとして派遣している。
- COC事業関連の授業科目は、全学共通教育で実施しているのか。

- 全学共通教育と専門科目の両方で実施している。
- 全学共通教育だけでは抽象的な学修になってしまうため、専門教育を結びつけて実施し、より具体化することが大切である。
- カリキュラム構成の中で、ふりかえり授業を充実する必要があるが、具体的にどのように取り組んでいるか。
- 学生の意識改革を調査するために、アンケートを中心にふりかえり学修を実施している。なお、現在、COC事業関連の授業科目を受講した卒業生と受講していない卒業生の意識の差や、地元企業からの評判等をフォローアップしており、今後のふりかえり学修を充実させていきたいと考えている。

(7) 岐阜大学創立70周年記念事業について

横山委員から、資料10に基づき、岐阜大学創立70周年記念事業について、地×知のアーカイブ事業の概要について説明があった。また、岐阜大学基金の充実を図っていきたいとの発言があった。

(8) 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の進捗状況について

林委員から、資料11に基づき、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」について、女性研究者の採用比率・在職比率・上位職比率、女性研究者の研究力向上のための取組、女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組、及び意識啓発のための取組等について報告があった。

(9) 産官学の連携状況（平成28年度実績）について

王委員から、資料12に基づき、産官学の連携状況について、共同研究の実績の推移、受託研究実績の推移、知財の創出・活用状況の推移について報告があった。

(10) 創立記念日行事（6/1）について

議長から、資料13に基づき、6月1日（木）に実施した創立記念日行事について、実施内容の報告があった。

7 その他

(1) 医学部附属病院の経営状況について

小倉委員から、資料14に基づき、医学部附属病院の平成28年度経営目標達成率について報告があり、損益計算書及び収支計算書について報告があった。

8 次回の開催日

次回の開催は10月を予定している旨の説明があった。